



# 新座三中大より

学校教育目標

自ら学ぶ 心豊かに たくましく

新座市立第三中学校

令和4年11月1日

新座市池田1-1-1

TEL 048-479-4052

FAX 048-482-0133



## 100年へ向かって

校長 和久井 功雄

開校記念日11月11日 第三中学校は昭和48年に開校し、創立50年を迎えました。11日には記念式典を実施します。この50周年記念事業の実施に当たりましては、市当局をはじめ、保護者、地域の皆様に御支援、御協力をいただき、心より御礼を申し上げます。



昭和48年、片山小学校、第四小学校、池田小学校、野寺小学校を通学区として全校生徒675名でスタートしました。50年目の本年度は生徒数798名でスタートしましたが、ピーク時は昭和61年度1,310名で、現在の図書室が教室となる超マンモス校でした。以降多くの卒業生が巣立ち13,231名が社会のそれぞれの分野で活躍されています。

校章は、同年5月1日に制定されました。県木である「樺の葉」を図案化したもので、第3学年の美術の授業で取り組み、全校生徒による投票で「今井節子さん(当時3年4組)」の作品が選ばれました。現在も当時の図案が校長室に飾られています。



樺は大地にしっかり根をはり、成長して巨木となり広大な宇宙に大きな枝を広げて葉が繁茂し、堅実で雄大なその容姿は三中生徒の未来像にふさわしい。中央の三ツ組のペンの象徴は、全学年共に希望に燃え、ペンを取って学業に励む姿を表現している。

また、平成9年11月3日にフィンランド共和国ユヴァスキュラ市の当時ボイヨンマ中学校(現在ヴィタニエミ中学校)と友好姉妹校提携を結び25周年とりました。11月4日に記念事業として、オンラインで交流会を行います。これを機に、再び両校の連携を行って行けたらと思います。

50年の間には、様々な歴史が刻まれています。卒業生(在校生を含む)一人一人にそれぞれの思い出があると思います。50年前

と同じ学び舎で、現在も生徒たちが学んでいることに感慨深いものを感じます。

時代は変われども、子供はいつの時代も同じです。第三中学校は、良き伝統を受け継ぎながら、新たな変革をし、次の100年目に向けて一步一步成長していきます。

### 非認知能力

10月28日に学年別の発表でしたが合唱祭を行いました。体育祭の感動から1ヶ月、今度は、どんな感動が味わえるのか楽しみにしていました。生徒たちは、期待を大きく裏切り予想を遙かに超えた合唱で、心が潤い、幸せな気持ちで満たされ、言葉では言い表せないほどの感動を味わいました。

学校は学力向上が中心ではありますが、学校の良さ、必要性はそれだけではないということ、新型コロナウイルスの対応を通して痛感しています。いわゆる数値化できない力「非認知能力」が人間の成長には欠かせないものであり、数値で表される「認知能力」とともに育成しなければならないものである考えます。非認知能力とは、やり抜く力、自分を信じる力、自己肯定感、やる気、集中力、粘り強く頑張る力、自制心、理性、精神力、判断力、行動力、客観的思考力、応用力、失敗から学ぶ力、創造力、工夫する力などと言われています。どの力も授業だけでなく、学校行事も大きく影響しています。今、三中生は「非認知能力」が確実に成長していることを生徒の姿から実感します。

様々な経験や体験を通して学ぶ「百聞は一見に如かず」の通り、一つの経験や体験は人を大きく成長させてくれます。失敗を恐れず、何度も粘り強く取り組む、やり続ける、やり切る力を付けて欲しいと願います。

～ 経験や体験から学ぶ、価値ある失敗を大切に<リトライ> ～